



桂川っ子

VOL.8

保護者の皆様へお願い

— 学力テスト結果発表から —

桂川町教育委員会

教育長 佐谷 千香子

8月29日、文部科学省は全国の学力テストの結果を発表しました。

都道府県の中で、今年もまた秋田県・福井県・富山県が好成績をあげました。

福岡県は、国語・算数（中学校は数学）のすべての面で、全国の平均正答率をわずかに下回っています。さらに、筑豊教育事務所管内の平均正答率は、県内で最下位でした。

私は思います。

塾が盛況で、教育環境が整っている都会より、なぜ東北地方なのかと。一般的に素直で、地道に努力をし、粘り強い気質を持っていることが一因ではないかと。



学習面でも、そうだと思います。

日々のたゆまぬ努力を続けているのだと思います。「継続は力なり」です。

学力テストは、学力のすべてではありませんが、結果は結果としてとらえたいと思います。小中学校時代に勉強したことは、一生の宝であり、生き方の土台になると言っても過言ではありません。

過去の本町の歴史を振り返ってみると、桂川の子どもたちは、実力を持っていたとよく聞きます。

やれば出来る！

やらせれば伸びる！！

桂川の児童生徒も、今のうちにしっかり努力をして、大海へ泳ぎだして欲しいと願っています。

学力テストの結果をうけて、学校では厳しく捉え、問題点を分析し解決を考え続けております。

そこで、ご家庭では次の点を実行させて欲しいと願います。

一、早寝早起き、朝ごはん

毎朝ごはんを食べている子の方が「各教科の正答率が高い」という結果がでました。

一、家庭学習の習慣化を

平日の家庭学習の時間が多い児童生徒の方が、各教科の正答率が高い傾向にある、という結果が出ました。小学生は最低三〇分～一時間。中学生は二時間以上。予習・復習をさせましょう。

家庭学習の時間の多い児童生徒の方が各教科の正答率が高い傾向がみられます。

一、テレビやビデオを観たり、TV

ゲームの時間は少なめに

目が疲れます。頭が疲れます。夜更かしの原因になり、翌日の生活に差し支えます。

視聴時間は、小・中学生とも多くとも二時間以内にさせてください。

テレビやビデオ、テレビゲームの時間が短い児童の方が、各教科の正答率が高い傾向がみられます。

一、学校のきまりを守らせよう

学校のきまりを守っている児童生徒の方が、各教科の正答率が高い傾向がみられます。

一、家庭でコミュニケーションを大切に

家の人と学校での出来事について話をする児童生徒の方が各教科の正答率が高い傾向がみられます。

子どもの生活習慣を見直しましょう。

